

令和8年6月4日
日本医療検査科学会

令和8年度 第1回 遺伝子・プロテオミクス技術委員会 議事録

開催場所：九州大学病院地区キャンパス

日時：2026年5月9日（土）14：10-15：10

会場：第2薬局棟 2F 会議室3 + ZOOM

対象者：委員の皆様

議事内容

1. 委員会活動報告

- 1) MALDI-TOF MS WG1 報告
- 2) がんゲノム検査の評価と規制に関する基本的考え方 WG2 報告
- 3) 遺伝学的検査における外部精度管理としてのクロスチェック WG3 報告

2. 技術セミナーの内容について

3. 関連学会の情報等について

日本遺伝カウンセリング学会学術集会、日本遺伝子診療学会大会、日本人類遺伝学会大会、日本医療検査科学会大会の日程、場所、大会長の情報等

4. その他審議事項

配布資料

資料1：MALDI-TOF MS WG 報告

資料2：がんゲノム検査の評価と規制に関する基本的考え方 WG 報告

資料3：遺伝学的検査における外部精度管理としてのクロスチェック WG 報告

資料4：遺伝子・プロテオミクス技術委員会委員名簿

日本医療検査科学会 遺伝子・プロテオミクス技術委員会委員名簿（R8年度）2026年 5月 6日 現在

役務	氏名	所属
委員長	中山 智祥	日本大学医学部病態病理学系臨床検査医学分野
副委員長	曾川 一幸	麻布大学生命・環境科学部生化学研究室
委員	村上 正巳	群馬大学大学院医学系研究科臨床検査医学
委員	糸賀 栄	かずさDNA研究所
委員	横田 浩充	東京医療保健大学 医療保健学部 医療栄養学科
委員	南木 融	筑波大学附属病院検査部
委員	村田 正太	千葉大学医学部附属病院検査部
委員	清祐 麻紀子	九州大学病院 検査部
委員	安田 和成	三重大学医学部附属病院 検査部/感染制御部
委員	藤永 あずみ	ブルカー・ジャパン株式会社
委員	於保 恵	佐賀大学医学部附属病院検査部
委員	上地 幸平	厚生労働省 健康・生活衛生局 感染症対策部 感染症対策課
委員	松下一之	千葉大学医学部附属病院検査部・遺伝子診療部
委員	東田 修二	東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 全人的医療開発学講座 臨床検査医学分野 東京科学大学病院 検査部
委員	奥川 喜永	三重大学医学部附属病院 ゲノム医療部
委員	竹田 真由	藤田医科大学病院 がんセンター
委員	山口 敏和	株式会社ビー・エム・エル 先端技術開発本部
委員	日比 正彬	株式会社エスアールエル 遺伝子・病理部 ゲノム解析課

役務	氏名	所属
委員	橋口 照人	鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 血管代謝病態解析学分野
委員	小飼 貴彦	獨協医科大学 ゲノム診断・臨床検査医学講座
委員	竹越 一博	筑波大学医学医療系臨床医学域スポーツ医学
委員	宮地 勇人	新渡戸文化短期大学 臨床検査学科
委員	内海 健	九州大学大学院医学研究院臨床検査医学
委員	渡邊 淳	金沢大学附属病院 遺伝診療部
委員	長田 誠	国際医療福祉大学 保健医療学部 医学検査学科
委員	泉 絢子	群馬大学医学部附属病院検査部
委員	郡司 昌治	名古屋第一赤十字病院 細胞診分子病理診断部
委員	副島 隆浩	栄研化学株式会社 マーケティング推進室 マーケティング3部
委員	平本 卓	群馬大学医学部附属病院検査部
委員	大瀬 壘	ロシュ・ダ イアグ ノスティクス株式会社
委員	広瀬 健太郎	株式会社LSIメディエンス 検査品質管理室
委員	宝田 三津子	LGC Clinical Diagnostics
委員	西田 浩徳	バイオメリュー・ジャパン株式会社
委員	塩田 あすか	シスメックス株式会社 カスタマーサポート部
委員	田所 健一	株式会社ビー・エム・エル 先端医療開発部 ゲノム戦略課
委員	小嶋 慈之	株式会社ビー・エム・エル 先端医療開発部 ゲノム開発課
委員	古井 陽介	株式会社ファルコバイオシステムズ バイオメディカル事業部
委員会事務局 委員	土田 祥央	日本大学医学部病態病理学系臨床検査医学分野

1) 中山委員長からのご挨拶

令和8年度第1回遺伝子・プロテオミクス技術委員会を開催する。本日は議案に沿って進めていく。現地参加者は8名。その他はZoomでの参加となるとの発言があった。

2) 委員会活動報告

MALDI-TOF MS WG 報告

曾川 一幸先生 (WG 代表) より

今年度 MALDI-TOF MS による細菌同定の外部精度管理調査実施概要について確認頂きたい。第4回 MALDI-TOF MS による細菌同定の外部精度管理調査を実施した。結果に関しては現在論文化を進めている。参加登録の期間は2025年10月6日から2025年10月24日としWebフォームから参加登録をお願いした。外部精度管理調査参加費は6,600円とし、2025年11月7日(金)までに振込みをお願いした。対象菌株は3株としている。3株の内訳は *Candida auris* (CDC B11903), *Enterococcus faecium* (ATCC 8459), *Haemophilus influenzae* (ATCC19418)とした。振り込んで頂いた施設から2025年11月下旬から-20℃で発送し、測定時期2025年11月下旬から2025年12月5日までとした。参加施設はブルカージャパン株式会社ユーザー:158施設、バイオメリュー・ジャパン株式会社ユーザー:24施設で合計182施設であった。各メーカー推奨の方法で前処理を行う。1菌種につき、3コロニーをそれぞれ測定頂いた。結果報告・認定証及び参加証の発行は2026年3月末日に実施した。本外部精度管理調査結果は、『医療検査と自動化』に投稿中である。

がんゲノム検査の評価と規制に関する基本的考え方 WG 報告

松下 一之先生 (WG 代表) より

先日、高橋聡理事長が千葉大病院まではるばるご足労いただいた。WG2の活動に関する学会としてのサポートについて1時間ほど意見交換した。内容であるが

1. WG2の活動を学会として支援いただけることになりました。予算や事務局機能などを学会事務局で担当していただく。
2. 精度管理を実施した場合には学会として参加証明 (ISO 用) を発行する。
3. 運用面はこれまで通り、学会事務局では難しい専門的な件についてはWG2の関係者 (当面千葉大) が行う。その場合、必要経費は学会で負担する。
4. 論文化する場合には、学会名を明記することを条件に、出版費用を補助する。

今回のEQAを参加全施設の結果が良好であったという論文としてまとめる。その際に、全体の結果をまとめたエクセル表に加えて、indelを対象に各施設の表記についてまとめる。同時に、各施設で調べている遺伝子をベン図で表し、共通な遺伝子を示す。indelの表

記が施設により異なること、全ての施設で調べている共通な遺伝子（例えば KRAS, BRAF, EGFR）を、今後学会で参加施設を公募した際に調べる遺伝子の候補とする。ここまでの情報を論文化する。追加の実験は行わなわない。高橋理事長は、2026 年度は公募して EQA を行ってほしい、札幌医大も参加したい、という希望があった。そこで、上記論文で施設で共通に調べることができる、KRAS, BRAF, EGFR の 3 つを多数の施設で調べて国内の EQA の一歩にする。

遺伝学的検査における外部精度管理としてのクロスチェック WG 報告

中山 智祥委員長（WG 代表）より

外部精度管理評価として 2 通りのシステムを構築している。1 つは本委員会である日本医療検査科学会 遺伝子・プロテオミクス技術委員会として行うもので、これが利用できるメンバーは本委員会委員である。もう 1 つは日本大学医学部病態病理学系臨床検査医学分野として行うものである。

日本大学医学部病態病理学系臨床検査医学分野として行うものとして新しいホームページを立ちあげた。平成 30 年度からの厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患等政策研究事業）「難病領域における検体検査の精度管理体制の整備に資する研究」【（難波栄二班）の研究費による】日本大学医学部倫理委員会に延長願を出して承認されている。2026 年度の受付を開始するとの報告があった。第 33 回日本遺伝子診療学会大会、第 50 回日本遺伝カウンセリング学会学術集会、日本医療検査科学会第 58 回大会、第 66 回日本臨床化学会年次学術集会、日本人類遺伝学会第 71 回大会、第 73 回日本臨床検査医学会学術集会の紹介があった。日本遺伝子診療学会誌 3 巻 2 号が 2026 年 3 月 31 日(火)に発行された。J-STAGE に PDF で公開中である。「スッとわかる がんゲノム医療 - あなたの理解をお助けします - 中山智祥。メディカル・サイエンス・インターナショナル」が 2025 年 9 月 25 日に発行された。

3) 今回の第 27 回技術セミナーについて

南木融先生、事務局 より

第 58 回大会では、例年通りセミナーを開催する。遺伝子関連検査結果の表記法やアノテーションについて講演を依頼する予定。テンクーに打診してはどうかと意見があった。後日、中山智祥委員長のご尽力によりテンクーから了承を得た。演習は 2 つ予定しており、1 つはバイオメリュウ社に質量分析に関して依頼する予定。もう 1 つもこれから打診予定。委員からは、早めに周知して多数人数を集めたい、数を少なめにして長めの時間をかけじっくり聞きたいという意見があった。

以上

次回予定 令和 8 年度 第 2 回 遺伝子・プロテオミクス技術委員会

日時：2026 年 10 月 8 日～10 日 第 58 回大会 会期内 会場：神戸国際会議場